

かほく市議会 市民文教常任委員会 視察報告

【研修日程】

令和5年1月18日（水）～19日（木）

【視察研修先及び内容】

- 福岡県筑紫野市：地域コミュニティによるまちづくりの推進について
- 佐賀県武雄市：武雄図書館およびこども図書館の運営について

【参加者】

市民文教常任委員長	丸井	一範
副委員長	野田	稔彦
委員	竹内	幹雄
	杉本	正一
	塚本	佐和子
	中川	康弘
	池田	義治
議長	猪村	博靖
随行	米谷	淳

地域コミュニティによるまちづくりの推進について

(福岡県筑紫野市)

筑紫野市は、福岡県の県庁所在地で、政令指定都市でもある福岡市と県南部にある中核市の久留米市との中間に位置し、両市のベッドタウンとしての大規模住宅地の開発や駅周辺の宅地開発により、近年でも人口は増加傾向にある、面積は約88平方キロメートル、人口は、約10万6千人の都市であります。

また、九州自動車道や国道3号、JRや西日本鉄道など複数の路線が市内を走っており、北部九州における交通の要所となっています。

筑紫野市では、地域住民が主体となり、地域課題の解決や地域の魅力を活かしたまちづくりを推進するために、自治会等の地縁団体とボランティアやNPO、PTA、消防団など特定の目的を持つ各種機能団体が活動の枠を超えて、それぞれの特性を活かしつつ、補完しあいながら地域の自治の中核を担う、コミュニティ運営協議会を組織していました。

各コミュニティ運営協議会では、地域まちづくり計画を策定しており、特に防災・福祉・教育について優先して取り組まれており、ちょっとした困りごとを住民同士で解決する、支えあい・助けあいの活動（有償）や、主に災害時における地域住民によるボランティア組織の結成、市営バスの運営を委託する形での自治会バスの運行など、各地域課題に応じた取り組みが実施されているとのことでありました。

筑紫野市では、昭和47年の市制施行後の市総合計画において、(旧)コミュニティ構想を採用し、その後、各コミュニティセンターの建設、地域コミュニティ基本構想の設定、継続的な自治会との協議を重ねて、現在の地域コミュニティによるまちづくりの推進を実現していました。

本市において、同様な仕組みを導入するためには、各地区との十分な協議が必要であり、困難であると感じましたが、地域が主体となって地域課題を解決するために取り組む手法は、大変有効なことであるため、かほく市モデルとしてどう取り組むべきか、今後検討すべき研修内容でありました。



武雄図書館およびこども図書館の運営について

(佐賀県^{たけお}武雄市)

武雄市は、佐賀県の西南部に位置し、面積は約 195 平方キロメートル、人口は約 4 万 7 千人で、市の中心には開湯 1300 年の武雄温泉があり、また、2022 年 9 月に武雄温泉駅から長崎間において、西九州新幹線が開業しております。

武雄市では、新図書館を建設する際「市民の生活をより豊かにする図書館」をコンセプトに、「いつでも利用できる図書館」、「居心地のいい図書館」、「体験できる図書館」など、「便利で役に立つ図書館」の実現を目指し、CCC(カルチャ・コンビニエンス・クラブ)との提携を決めたとのことであります。

指定管理者であるCCC(カルチャ・コンビニエンス・クラブ)からの、運営やサービス内容に関する提案や住民アンケートの意見を積極的に取り入れ、年中無休による午前 9 時から午後 9 時までの開館時間や 600 もの多様な雑誌タイトルが揃うマガジンストリートの設置、蔦屋書店およびスターボックスの導入など、従来の図書館運営とは異なる取り組みにより、来館者数については、リニューアル前の約 2 倍となる 50 万人を目標に設定していたが、3 倍以上の 90 万人になったとのことであります。

カフェでゆったりしたり、本の試し読みや談話ができる居心地のいい空間がひろがり、年間を通じて各種講座やワークショップなど、各世代を対象とした、生き甲斐づくりのきっかけになるようなイベントについて、他部署との連携などにより、多数開催するなど、建設時のコンセプトである「市民の生活をより豊かにする図書館」を実現されてきました。

また、平成 29 年 10 月には、武雄市で子育てがしたいと思ってもらうための「こども図書館」の建設や利用者アンケートによりニーズの高かった中高生などがグループ学習をするための多目的スペース(シェアルーム)を新設するなど、常に利用者にとって便利で役に立つ図書館となるよう、職員および図書館司書などスタッフ一丸となって創意工夫をされており、市内の方だけでなく、市外からの利用者も多いとのことで、来館者数が多いことで、多様なイベントなどが開催可能になるなどの効果もあるとのことであります。

子育て支援イベントの開催や生涯学習に関する講座の開催など、運営面での取り組みにより、図書館をまちづくりの拠点として運営し、地域活性化を推進していく可能性を感じさせられる視察研修でありました。

